

「交通安全教室」

7月6日（月）に交通安全教室を実施しました。

当日は講師として弘前警察署、柵形交番の警察官の方が、交通ルールや自転車に乗る時の心構えなどについて教えてくださいました。

歩行グループでは、「止まる・見る・待つ」を合言葉に、実際に学校周辺の横断歩道を渡る活動を行いました。児童生徒は講師の方の話をよく聞き、横断歩道の手前でしっかりと立ち止まり、左右を確認してから手を挙げて横断しました。児童生徒は真剣な表情で取り組み、講師の方から「しっかり確認できていますよ。」と言葉を掛けてもらっていました。

自転車グループでは、ヘルメット着用の重要性や、自転車で多い二つの事故「背面からの追突」と「出会い頭の事故」について実演付きの講話をしていただきました。児童生徒は実際に自転車に乗ったり、その様子を見たりして、事故が起こりやすい状況でどのように判断し行動するとよいか体験を通して学びました。

今回の活動を通して、児童生徒は道路横断や自転車利用の際の交通ルールの重要性を実感し、交通安全への意識を高めることができました。

今後も、家庭や学校で継続して言葉掛けを行いながら、安全な歩行、自転車利用につなげていきたいと思います。

最後になりましたが、ご指導いただいた弘前警察署並びに、柵形交番の皆様にご心より感謝申し上げます。

